



## FUJITSUファミリー会 創設50周年記念

# 2014年度 秋季大会

2014年度秋季大会は「創設50周年記念大会」として10月23日(木) 北海道・ロイトン札幌にて開催されました。過去最大となる約1,524名の会員、関係者が全国から参加。若手向けのアーリーセッションをはじめ、講演、セッション、懇親会など、例年に増して盛大に行われました。

アイヌ語の挨拶である『イランカラプテ』の掛け声とともにアイヌ民族古式舞踏アトラクションで開幕した本大会。下條会長からの開会の挨拶にはじまり、北海道知事の高橋はるみ氏より来賓のご挨拶、富士通の山本社長よりお祝いの挨拶がありました。

特別講演は、タレント・TEAM NACS リーダー 森崎博之氏より、記念講演は、落語家 六代 桂文枝氏よりお話をいただきました。続く3会場同時進行のセッションのほか、同日午前には荒川栄氏を招いたアーリーセッションも若手向けに開催。次々行われる活気あふれる講演に会場は熱気に包まれていました。親睦を深める懇親会では、さらなる50年をめざして次回、四国支部開催での再会を呼びかけ閉幕しました。



イランカラプテ「あなたの心にそっとふれさせていただきます」

### 挨拶



FUJITSUファミリー会 会長  
**下條 泰利 氏**

東京オリンピックが開催された50年前、FUJITSUファミリー会は37社からスタート。50周年を機にさらなる会員数を増やしていきたいと考えています。そして、石巻をはじめとする震災支援への協力を風化させず続けていかなければならないと強く思っています。



富士通株式会社 代表取締役社長  
**山本 正巳 氏**

私たち富士通グループは、今後様々なことにチャレンジし、皆様よりいろんな意見やアドバイスをいただきながら新たなICTの歴史をつくっていくことが重要だと考えています。60年、100年とファミリー会がますます発展、進化していき、さらに世の中に貢献することができれば嬉しく思います。



北海道知事  
**高橋 はるみ 氏**

節目となる記念すべき大会を北海道札幌で開催していただいたことを心から感謝申し上げます。「イランカラプテ」はおもてなしの言葉。北海道を存分に楽しんで交流を深めていただきたいと思っています。皆様のますますのご健勝、ビジネス発展を祈念申し上げます。

## 日本縦断した3枚のタスキを会場にてお披露目

全国の会員の皆様より寄せられたメッセージです。





## 懇親会



挨拶  
富士通株式会社  
取締役執行役員専務  
浦川 親章 氏



来賓挨拶  
札幌市観光文化局 局長  
可児 敏章 氏



乾杯  
FUJITSUファミリー会 副会長  
鳥越 正敏 氏



アトラクション  
YOSAKOIソーラン  
北海道大学“縁”



大会旗リレー  
北海道支部 尾張支部長から  
四国支部 石元支部長へ



中締め  
尾張支部長と北海道支部の皆様

## 特別講演



『生きることは  
食べることだ!』  
タレント・TEAM NACS リーダー  
森崎 博之 氏

農業をもっと楽しく広めたい、という想いで放送されているHBC「森崎博之のあぐり王国北海道」。番組の動画を交えながら、北海道の農業、野菜の魅力を軽快なトークで紹介。近年評価が高まる北海道米の開発方法、出荷量全国1位の牛乳や十勝産小豆などの生産方法と保管方法とは？農業が子供の目にどう映り、食用家畜とどう対峙していかなければならないのか。森崎氏の食に関する活動は幅広く、北海道フードマイスター、ごはんソムリエとしての立場からも、朝ご飯の重要性、家族との会話を含めた食育の大切さについて語っていただいた。

### ご参加者の声

森崎さん出演番組「あぐり王国北海道」のVTRやお話を通じ、雪の下での野菜保存など、北海道の風土を生かした食文化について大変興味深く聴かせていただきました。「北海道応援団長」である森崎さんの熱い語り口を通じ、食育と北海道の農業に対する熱い想いに共感しました。(Y.I.)

## 記念講演



『笑いはこちらの  
ビタミン剤』  
落語家  
六代 桂 文枝 氏

2012年、69歳で文枝を襲名し、現在71歳。数々のレギュラー番組を持ち、なかでも「新婚さんいらっしゃい!」は、一人の司会者が担当している日本の番組では最長の44年続くものである。その活力は食事・運動、そして何より心から「笑う」こと。笑いというのはNK (Natural Killer) 細胞を活性化し、がん細胞を抑える働きがある。そんな笑いの種は日常生活の身の回りにたくさん落ちていくという。こちらのビタミン剤となる様々な笑いのエピソードを軽快に語っていただき、会場は笑いの渦に包まれた。

(本号P12～13に講演録を掲載しています)

### ご参加者の声

68歳の時に六代『文枝』を継ぐと決心されたといいました。大変な苦労があると容易に想像できたのに、責任感、チャレンジ精神、向上意欲がそうさせたのでしょうか。それほどまでに情熱を持てるものがあることは、素晴らしいことだと思います、自分もそうでありたいと思いました。講演の始めから終わりまで笑わせていただきました。あっという間の1時間で名残惜しい空間でした。(H.Y.)



**交流行事**

秋季大会 2 日目は、北海道を満喫しました。



**抽選会**  
11支部、会長、富士通より豪華賞品をプレゼント

**2014 年度  
入賞論文表彰**

6名を代表して秀作論文を受賞された白方博教氏より挨拶



**視察 A** 北の大地のオリンピック体験コース



**視察 B** 美唄・砂川コース



**視察 C**  
積丹・余市コース



**視察 D**  
旭川動物園コース



**視察 E** とかち満喫コース (1泊2日)



**ゴルフコース** 桂ゴルフ倶楽部

**セッション 1**

**お客様に密着! で地域に貢献する十勝バスの経営  
～ 40年ぶりの利用者増加の実例～**



十勝バス株式会社 代表取締役社長 **野村 文吾 氏**

2016年に90周年を迎える十勝バス株式会社。最盛期より8割以上乗客が減り、売上50%減、人件費60%カットの厳しい経営状況の中、地域住民の家を1軒1軒営業訪問して気づいた利用者とはバス会社との意識の違い。お客様の声から学び取り組んだ行動が徐々に成果となって広がっていき、利用者数は10年前まで回復。売り上げはもちろん、社員の意識、国の意識まで変えていくこととなった。業界を超えて全国に影響を与え、地元住民からも「十勝の誇り」とまで言われている同社の取り組みを、事例を交えながら語っていただいた。

**ご参加者の声**

きっかけは本当に小さな行動から始まり、ついには国土交通大臣にまで届いた、そのプロセスには胸がスカットする思いでした。困難の連続を乗り越え、達成の喜びで社員が一丸となったことと思います。小さなところから始めることはきっと誰にもできます。それを示していただいた、勇気の湧くお話でした。(Y.O.)

**セッション 2**

**「ヒト・コト・モノに着目した属人化が運用保守に与える影響の分析と対応  
～ 一時間の経過とともに広がる属人化現象、私たちはどう立ち向かうか!～  
～ LS研究委員会2013年度 Leading-edge Systems研究 最優秀賞～**



株式会社  
コスモコンピューターセンター  
管理システム部人事G  
**勅使河原 洋介 氏**



TDCソフトウェアエンジニアリング株式会社  
金融システム事業本部  
第1金融事業部保険システム部  
**安井 聡 氏**

**ご参加者の声**

システム運用保守の効率化はこれまでも多くの研究が行われてきましたが、属人化の発生要素をヒト・コト・モノに分類したり、「解消不要な属人化」や「良い属人化」もあるとするなど、目新しく興味深い内容でした。自社でも「属人化チェックシート」を活用して自己診断を行いたいと思います。(S.Y.)

**セッション 3**

**「ICTで地域再生ーグローバルに学ぶー」**

富士通株式会社 顧問 **伊東 千秋 氏**



**ご参加者の声**

主に日本や世界の抱える課題と現状を熱弁されました。人口のボーナス(人口増)を使い切ってしまったら停滞しかなく、日本は大停滞の先駆けの国で、それでも経済大国であるため、世界の国々から参考にされているそうです。また、「外国の人々は日本の良さに気付か始めていて、気付いていないのは日本人だけ」という言葉も印象的でした。まだまだ日本も捨てたもんじゃありませんよ。(T.S.)